



朝九小だより

朝霞市立朝霞第九小学校
令和3年4月30日(金)
5月号 児童数 352名
TEL:048-466-4481
<http://www.asakadai9.city-asaka.ne>

【学校教育目標】 「心豊かでたくましい人間の育成」
すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
【めざす学校像】 「明るく元気な挨拶と笑顔で輝きのある学校」



家庭学習のススメ

校長 田中 誠

風薫る5月、青々と茂った樹木の間を風が吹き抜ける季節となりました。子供たちは新しいクラスにも慣れ、元気に学校生活を送っています。ただ、始業式から1か月を過ぎ疲れが出てくる頃でもあります。また、学校生活に慣れたこの頃は、低学年の交通事故が多くなる時期でもあります。ゴールデンウィークを迎えていますが、健康や安全に気を付けて過ごして欲しいものです。

さて、昨年度の学校だより2学期終業式号でお知らせしましたが、埼玉県学習状況調査の質問紙調査結果から、本校5・6年生は県平均と比べ「予習や復習をしている」割合が低いことが分かりました。学校では、決められた時間に決められた内容の学習をします。たくさんの内容を学習するので、受け身の学習になったり、学校での学習だけではなかなか学力の定着を図ることが難しくなったりすることもあります。ですから、子供の発達段階に応じた家庭での毎日の学習は大切であり、その取組が自ら進んで学ぶ学習習慣を付けていくことにつながります。

では、予習と復習ではどちらに取り組めばよいのでしょうか。「学習したことをより確実に身に付ける」ため、復習をすることはとても大切なことです。ぜひ取り組んでほしいと思います。できれば、その日に学んだことを声に出して説明させると、より整理されます。

次に、予習の効果はどうでしょうか。人間に備わった防衛反応として、初めてのものや場所には『興味を持つ』よりも『不安を感じる』ことの方が多いのだそうです。ですから、予習をしておくことのメリットとして、不安や緊張をなくし、よい状態で学習することができるといえるでしょう。また、予習をしていれば授業がよくわかるので楽しくなります。また、予習していてわからないことがあれば、「わからないことはここ」と予め自分で知っておくことで、先生が話しているときに自然と意識は授業に引き付けられます。さらに、予習でわかったことは授業で学ぶときは2回目の学習、つまり授業自体が「復習」のようなものとなります。

学校の宿題は、どちらかという学習したことの確実な定着を目指した復習が主となります。「復習だけで手一杯」という状況でなければ、メリットを考え予習にも取り組ませてもらいたいと思います。学校では子供たちに家庭学習の大切さややり方について指導していますので、ご家庭でも学習習慣が定着できるようにご協力をお願いします。



正門前、きれいなチューリップが咲き、1年生を迎えました。